

青山城跡(比企郡小川町)

正面左手の麓から右手の山頂の青山城跡を目指す



小川町青山集落の農家の方の許可を得て、ここに調査隊の車を置かせていただくことにする



標識に右手方向が「仙元山登山口」とある



ここから青山城跡を目指す

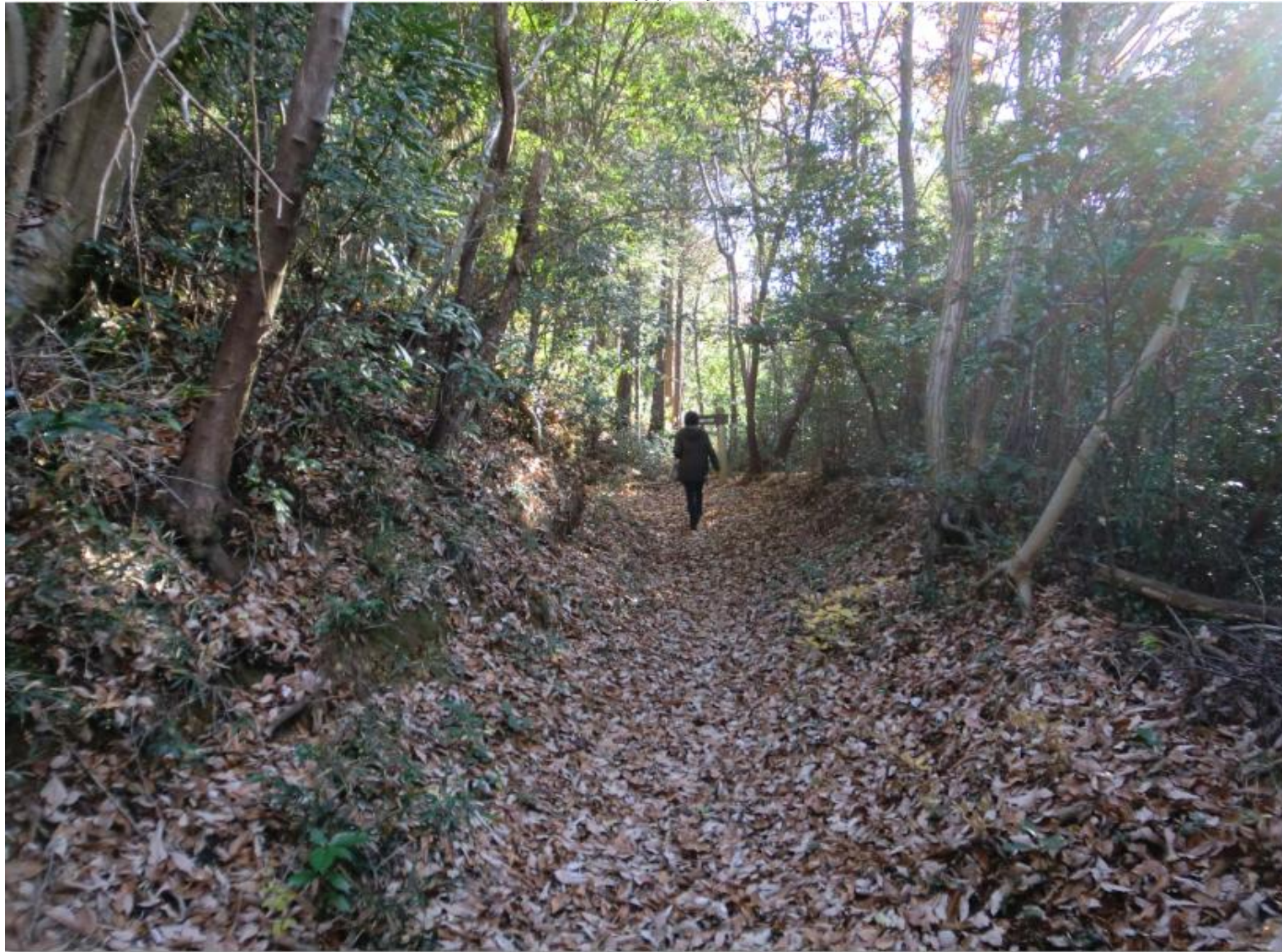




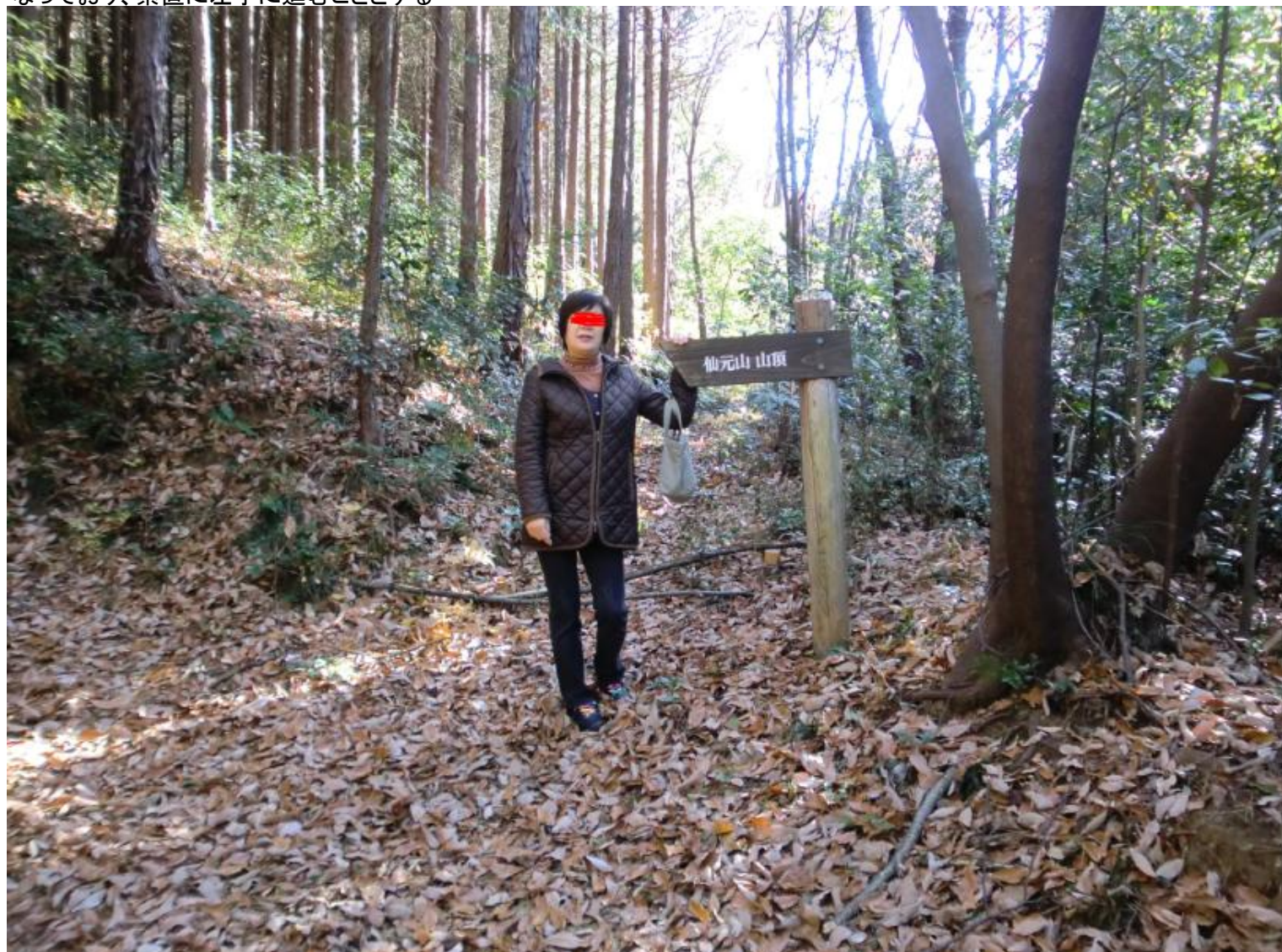




正面にまた標識が見えてくる



左手方向が「仙元山山頂」とある/ちなみにこのまま、まっすぐ進むと青山城跡に直登となるらしいが、少し進んだだけでブッシュと
なっており、素直に左手に進むこととする









対面に見える山頂が青山城跡がある場所/左手から大きく迂回して目指すことになる



更に進む



左手方向から登って来たのだが、ここが仙元山方向(正面の方向)との分かれ目/青山城跡へは手前方向へ進むことになる

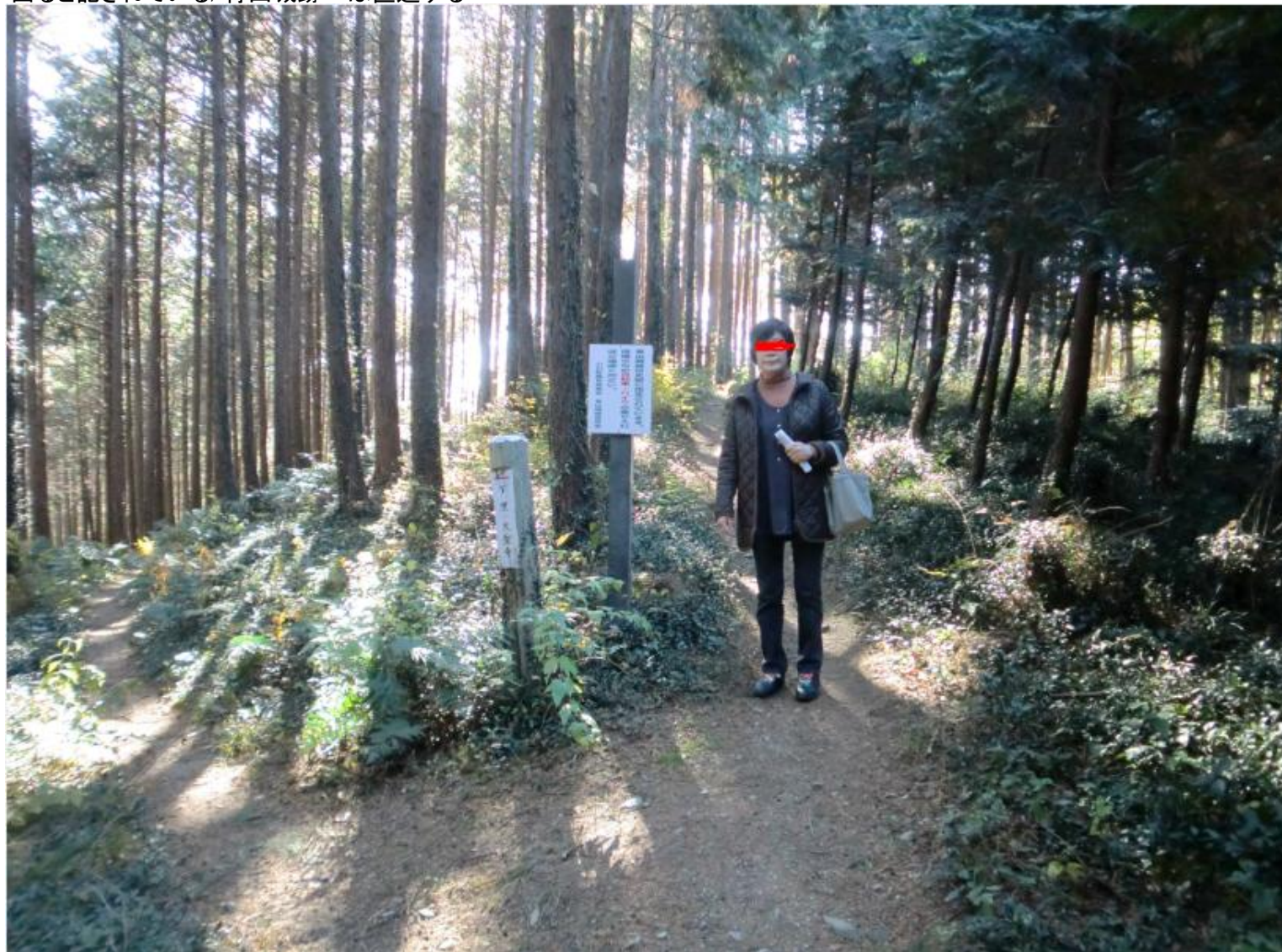


青山城跡方向の道を進む





道標にはここを左手に行く和下里の大聖寺(わが国最古の「石造法華経供養塔(六面幢)および板碑(国指定文化財)」がある)へ出ると記されている/青山城跡へは直進する



大聖寺 参考ホームページ

<http://www.hiki-saitama.jp/kankou/guide/history/30.htm>





右手に山頂が見えてくる





いよいよここを登ると青山城跡のようだ/また、この尾根伝いに更に進むと小倉城跡へも行けるようだ



小川町青山側では青山城と称し、下里側では割谷城と呼ばれるとのこと





いよいよ山頂(青山城跡)へと進む



こんな斜面



右手前方に表示板を発見



三の郭手前の堀切跡/その手前は腰郭とされる



堀切跡を下から上に見上げる



堀切跡を上から下へ見下ろす



堀切は谷へ縦堀となって落ちている



さて、更に前方の階段を登って進む



補助員が座り込んで資料を確認している



ここは「三の郭跡」



更に進むとまた、表示板がある



ここも堀切跡となっている/その向こう側に本郭があるようだ



三の郭と本郭を隔てる堀切跡を上から下へ見下ろす



堀切は谷へ豎堀となって落ちている



堀切跡を下から上に見上げる



さて、本郭へと更に進む



本郭の表示板が見えてきた



青山城本郭跡/平安時代末期の築城とされる



説明板もあった





町指定史跡 青山（割谷）城跡

小川町大字青山宇立巖二二九二―二九二外
平成四年三月二五日指定

、青山（割谷）城跡は、青山と下里の大字境に位置し、青山側では青山城、下里側では割谷城と呼ばれています。

城跡は尾根を巧みに利用し、標高二六五メートルの山頂部に築かれた本郭を中心に、南西に二の郭、南東に三の郭を「コ」の字状に配し、それぞれの郭は深い堀切で画されています。また、本郭の南東側および二の郭の東側には帯郭がよく残されています。

本城が築かれた年代については不明な部分が多いのですが、『関八州古戦録』には永禄六年（一五六三年）「松山城へは上田案楽斎、同上野介朝広を還任なさせしめ青山、腰越の両砦と共に堅固に相守らせ」とあり、戦国時代、松山城の支城であったことがわかります。

東二・六キロメートルには小倉城（現玉川村）があり、北六・〇キロメートルには高見城、西三・四キロメートルには腰越城を臨むことができます。また、城を流れる槻川に沿った鎌倉裏街道を見下ろす地理的な要所に位置した城跡です。

青山（割谷）城跡測量図



平成四年三月一日

小川町教育委員

本郭を中心に、南西に二の郭、南東に三の郭をコの字状に配し、それぞれの郭は深い堀切で画されている/また、帯郭跡の文字も見える



進んで来た道を振り返ると左手に土塁が廻っているのが分かる





土塁の左手に虎口の跡がある



本郭北側の腰郭を見る





斜面を堀跡が落ちていく



腰郭から虎口を見上げる



虎口の辺りにはこのように石が散乱している



本郭全体を東側から西側方向へ見る/手前(説明板がある辺り)に比べて前方(西側)の地盤が一段下がっている



前方(西側)の一段下がった方向へ進む



振り返って一段高い方向(説明板があった辺り)を見る/左手に土塁が廻り込んで来ているのが分かる



二の郭と連結する本郭西面の土塁/無数の石が散乱している



緑泥片岩による石積み土塁の状況







さて、更に進んで二の郭跡へと向かう



左右に堀切が横たわり、正面の土橋を渡ると二の郭跡へと至る



本郭と二の郭の間の堀切跡を見る



斜面下の帯郭へと続いている



下から上を見上げる



このような岩盤が散見される



上記の岩盤の上部に表示板がある



ここが本郭の南西側を守備する二の郭跡



二の郭跡から来た道を振り返る/手前が右手に下って帯郭へと向かう先程の堀切跡



左手の削平された部分が二の郭の東側の帯郭跡



二の郭跡の斜面を見上げる



再び本郭へと登り帰路に着く



元の場所(小川町青山集落)へ下りて来るとこんな風景



もう一度下から青山城跡があった付近(正面)を見上げる



参考ホームページ

<http://iyokakuzukan.la.coocan.jp/002saitama/067aoyama/aoyama.html>

<http://homepage3.nifty.com/azusa/saitama/ogawasai.htm#aoyama>

<http://www.geocities.jp/sisin9monryu/saitama.ogawa.html>

<http://www.geocities.jp/tsukavan0112/subdir-siropage/aoyamaiou.html>

<http://hya34.sakura.ne.jp/hikigunn/aoyamazyou/aoyamazyou.html>

<http://www15.ocn.ne.jp/~castle04/aoyama.html>

http://www5d.biglobe.ne.jp/~hatabo/meijyou/12_Saitama/aoyama/index.html

